

# CASBEE® - 建築(新築)

# 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版、CASBEE埼玉県2016年版 使用評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2016(v2.1)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)EDMテクノセンター第2工場3号棟増築工事	階数	地上3F
建設地	埼玉県比企郡川島町大字戸守字賀美408-1	構造	S造
用途地域	工業専用地域、指定なし	平均居住人員	XX 人
地域区分	5地域	年間使用時間	XXX 時間/年(想定値)
建物用途	事務所、工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2018年9月 予定	評価の実施日	2017年12月18日
敷地面積	12,335 m <sup>2</sup>	作成者	(株)ピーエス三菱
建築面積	5,061 m <sup>2</sup>	確認日	2017年12月18日
延床面積	9,274 m <sup>2</sup>	確認者	



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 0.8** ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

★☆☆☆☆

標準計算

①参照値	100%
②建築物の取組み	102%
③上記+②以外の	102%
④上記+	102%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q のスコア = 2.8**

#### Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.9

音環境	3.0
温熱環境	2.4
光・視環境	3.1
空気質環境	3.3

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.0

機能性	3.2
耐用性	2.8
対応性	3.0

#### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.7

生物環境	3.0
まちなみ	3.0
地域性・	2.0

**LR のスコア = 2.6**

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 2.1

建物外皮の	5.0
自然エネ	3.0
設備システ	1.7
効率的	2.5

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.1

水資源	3.0
非再生材料の	3.2
汚染物質	3.0

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 2.8

地球温暖化	2.8
地域環境	3.1
周辺環境	2.7

3 設計上の配慮事項		
総合	その他	
●一般的な同用途の建物と同等の仕様とした。	0	
<b>Q1 室内環境</b> ●主要居室で500Lxで計画している。 ●使用材のほとんどをF☆☆☆☆または対象外品を使用する。 ●隣接既存棟に喫煙室を設置している。	<b>Q2 サービス性能</b> ●リフレッシュスペース143.76m <sup>2</sup> を設ける。 ●節水型器具使用。受水槽を2基設置。災害時の蛇口付。 ●電話回線、光ケーブルを使用。地階に盤室等を設けない。	<b>Q3 室外環境(敷地内)</b> ●緑地スペースとして、植栽面積1363.95m <sup>2</sup> 、芝面積574.71を確保。 ●周囲の調和を考慮して派手な色彩を避ける。
<b>LR1 エネルギー</b> ●外壁、屋根の熱負荷の考慮 ・外壁: 金属断熱サンドイッチパネルを使用。 ・屋根: 鉄板ダブル折板葺を採用。 ●設備システムの効率運用 ・照明器具のLED化を進めて省エネ効果を上げる。	<b>LR2 資源・マテリアル</b> ●節水コマと節水型便器を採用。 ●躯体と仕上材を容易に分別(主に躯体+軽鉄+仕上材とする)	<b>LR3 敷地外環境</b> ●緑化によるCO <sub>2</sub> 削減で温暖化防止に努めた。 ●雨水流出抑制対策の実施の他、別途浸透樹の設置。 ●自転車置場設置。送迎バスの運行。従業員、管理者等の駐車場確保。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

**CASBEE-建築(新築)2016年版、CAS**  
**(仮称)EDMテクノセンター第2工場3号棟増築工事**

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版、C  
 ■評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2016(v2.1)

欄に数値またはコメントを記入

スコアシート		実施設計段階		環境配慮設計の概要記入欄		評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体
<b>Q 建築物の環境品質</b>										<b>2.8</b>
<b>Q1 室内環境</b>							0.32	-	-	<b>2.9</b>
<b>1 音環境</b>						<b>3.0</b>	0.15	-	-	<b>3.0</b>
1.1 室内騒音レベル						<b>3.0</b>	0.40	<b>3.0</b>	-	
1.2 遮音						<b>3.0</b>	0.40	-	-	
1 開口部遮音性能						3.0	0.60	<b>3.0</b>	-	
2 界壁遮音性能						3.0	0.40	<b>3.0</b>	-	
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)						<b>3.0</b>	-	<b>3.0</b>	-	
4 界床遮音性能(重量衝撃源)						<b>3.0</b>	-	<b>3.0</b>	-	
1.3 吸音						<b>3.0</b>	0.20	<b>3.0</b>	-	
<b>2 温熱環境</b>						<b>2.4</b>	0.35	-	-	<b>2.4</b>
2.1 室温制御						<b>3.0</b>	0.50	-	-	
1 室温						3.0	0.38	<b>3.0</b>	-	
2 外皮性能						3.0	0.25	<b>3.0</b>	-	
3 ゾーン別制御性						3.0	0.38	-	-	
2.2 湿度制御						<b>3.0</b>	0.20	<b>3.0</b>	-	
2.3 空調方式						1.0	0.30	<b>3.0</b>	-	
<b>3 光・視環境</b>						<b>3.1</b>	0.25	-	-	<b>3.1</b>
3.1 昼光利用						<b>3.0</b>	0.30	-	-	
1 昼光率						<b>3.0</b>	0.60	<b>3.0</b>	-	
2 方位別開口						-	-	<b>3.0</b>	-	
3 昼光利用設備						<b>3.0</b>	0.40	<b>3.0</b>	-	
3.2 グレア対策						<b>3.0</b>	0.30	-	-	
1 昼光制御						3.0	1.00	<b>3.0</b>	-	
3.3 照度		主要居室で500lx以上で計画している。				<b>4.0</b>	0.15	<b>3.0</b>	-	
3.4 照明制御						<b>3.0</b>	0.25	<b>3.0</b>	-	
<b>4 空気質環境</b>						<b>3.3</b>	0.25	-	-	<b>3.3</b>
4.1 発生源対策						<b>4.0</b>	0.50	-	-	
1 化学汚染物質		使用材のほとんどをF☆☆☆☆または対象外品を使用する。				<b>4.0</b>	1.00	<b>3.0</b>	-	
4.2 換気						<b>2.3</b>	0.30	-	-	
1 換気量						3.0	0.33	<b>3.0</b>	-	
2 自然換気性能						3.0	0.33	<b>3.0</b>	-	
3 取り入れ外気への配慮						1.0	0.33	<b>3.0</b>	-	
4.3 運用管理						<b>3.0</b>	0.20	-	-	
1 CO <sub>2</sub> の監視						1.0	0.50	-	-	
2 喫煙の制御		隣接既存棟に喫煙室を設置している。				5.0	0.50	-	-	
<b>Q2 サービス性能</b>						-	0.30	-	-	<b>3.0</b>
<b>1 機能性</b>						<b>3.2</b>	0.40	-	-	<b>3.2</b>
1.1 機能性・使いやすさ						<b>3.0</b>	0.40	-	-	
1 広さ・収納性						3.0	0.50	<b>3.0</b>	-	
2 高度情報通信設備対応						3.0	0.50	<b>3.0</b>	-	
3 バリアフリー計画						-	-	-	-	
1.2 心理性・快適性						<b>3.6</b>	0.30	-	-	
1 広さ感・景観						3.0	0.33	<b>3.0</b>	-	
2 リフレッシュスペース		リフレッシュスペース143.76㎡(事務室合計157.47㎡)及び自販機設置				5.0	0.33	-	-	
3 内装計画						3.0	0.33	-	-	
1.3 維持管理						<b>3.0</b>	0.30	-	-	
1 維持管理に配慮した設計						3.0	0.50	-	-	
2 維持管理用機能の確保						3.0	0.50	-	-	
<b>2 耐用性・信頼性</b>						<b>2.8</b>	0.30	-	-	<b>2.8</b>
2.1 耐震・免震・制震・制振						<b>3.0</b>	0.50	-	-	
1 耐震性(建物のこわれにくさ)						3.0	0.80	-	-	
2 免震・制震・制振性能						3.0	0.20	-	-	
2.2 部品・部材の耐用年数						<b>2.8</b>	0.30	-	-	
1 躯体材料の耐用年数						3.0	0.20	-	-	
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔						2.0	0.20	-	-	
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔						3.0	0.10	-	-	
4 空調換気ダクトの更新必要間隔						3.0	0.10	-	-	
5 空調・給排水配管の更新必要間隔						3.0	0.20	-	-	
6 主要設備機器の更新必要間隔						3.0	0.20	-	-	
2.4 信頼性						<b>2.6</b>	0.20	-	-	
1 空調・換気設備						3.0	0.20	-	-	
2 給排水・衛生設備						3.0	0.20	-	-	
3 電気設備						3.0	0.20	-	-	
4 機械・配管支持方法						1.0	0.20	-	-	
5 通信・情報設備						3.0	0.20	-	-	

<b>3 対応性・更新性</b>		<b>3.0</b>	0.30	-	-	<b>3.0</b>
<b>3.1 空間のゆとり</b>		<b>3.4</b>	0.30	-	-	
1 階高のゆとり		3.0	0.60	3.0	-	
2 空間の形状・自由さ	壁長さ比率=0.103(=160m/1553.21㎡)	4.0	0.40	3.0	-	
<b>3.2 荷重のゆとり</b>		<b>3.0</b>	0.30	3.0	-	
<b>3.3 設備の更新性</b>		<b>2.8</b>	0.40	-	-	
1 空調配管の更新性		2.0	0.20	-	-	
2 給排水管の更新性		3.0	0.20	-	-	
3 電気配線の更新性		3.0	0.10	-	-	
4 通信配線の更新性		3.0	0.10	-	-	
5 設備機器の更新性		3.0	0.20	-	-	
6 バックアップスペースの確保		3.0	0.20	-	-	
<b>Q3 室外環境(敷地内)</b>		-	0.38	-	-	<b>2.7</b>
<b>1 生物環境の保全と創出</b>		<b>3.0</b>	0.30	-	-	<b>3.0</b>
<b>2 まちなみ・景観への配慮</b>		<b>3.0</b>	0.40	-	-	<b>3.0</b>
<b>3 地域性・アメニティへの配慮</b>		<b>2.0</b>	0.30	-	-	<b>2.0</b>
3.1 地域性への配慮、快適性の向上		2.0	0.50	-	-	
3.2 敷地内温熱環境の向上		2.0	0.50	-	-	
<b>LR 建築物の環境負荷低減性</b>		-	-	-	-	<b>2.6</b>
<b>LR1 エネルギー</b>		-	0.40	-	-	<b>2.1</b>
<b>1 建物外皮の熱負荷抑制</b>		<b>5.0</b>	0.05	-	-	<b>5.0</b>
<b>2 自然エネルギー利用</b>		<b>3.0</b>	0.12	-	-	<b>3.0</b>
<b>3 設備システムの高効率化</b>	[BEI][BEIm] = 1.03	<b>1.7</b>	0.60	-	-	<b>1.7</b>
<b>4 効率的運用</b>		<b>2.5</b>	0.24	-	-	<b>2.5</b>
集合住宅以外の評価		<b>2.5</b>	1.00	-	-	
4.1 モニタリング		3.0	0.50	-	-	
4.2 運用管理体制		2.0	0.50	-	-	
集合住宅の評価						
4.1 モニタリング		3.0	-	-	-	
4.2 運用管理体制		3.0	-	-	-	
<b>LR2 資源・マテリアル</b>		-	0.30	-	-	<b>3.1</b>
<b>1 水資源保護</b>		<b>3.0</b>	0.20	-	-	<b>3.0</b>
1.1 節水		<b>3.0</b>	0.40	-	-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用		<b>3.0</b>	0.60	-	-	
1 雨水利用システム導入の有無		3.0	0.70	-	-	
2 雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.30	-	-	
<b>2 非再生性資源の使用量削減</b>		<b>3.2</b>	0.60	-	-	<b>3.2</b>
2.1 材料使用量の削減		3.0	0.11	-	-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用		3.0	0.22	-	-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用		3.0	0.22	-	-	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用		3.0	0.22	-	-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材		-	-	-	-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み	躯体と仕上材を容易に分別(主に躯体+軽鉄+仕上材とする)	4.0	0.22	-	-	
<b>3 汚染物質含有材料の使用回避</b>		<b>3.0</b>	0.20	-	-	<b>3.0</b>
3.1 有害物質を含まない材料の使用		<b>3.0</b>	0.30	-	-	
3.2 フロン・ハロンの回避		<b>3.0</b>	0.70	-	-	
1 消火剤		-	-	-	-	
2 発泡剤(断熱材等)		3.0	0.50	-	-	
3 冷媒		3.0	0.50	-	-	
<b>LR3 敷地外環境</b>		-	0.30	-	-	<b>2.8</b>
<b>1 地球温暖化への配慮</b>		<b>2.8</b>	0.33	-	-	<b>2.8</b>
<b>2 地域環境への配慮</b>		<b>3.1</b>	0.33	-	-	<b>3.1</b>
2.1 大気汚染防止		<b>3.0</b>	0.25	-	-	
2.2 温熱環境悪化の改善		<b>3.0</b>	0.50	-	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制		<b>3.5</b>	0.25	-	-	
1 雨水排水負荷低減	雨水流出抑制対策の実施の他、別途浸透樹の設置。	4.0	0.25	-	-	
2 汚水処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
3 交通負荷抑制	自転車置場設置。送迎バス運行。従業員、管理者の駐車場確保。	5.0	0.25	-	-	
4 廃棄物処理負荷抑制		2.0	0.25	-	-	
<b>3 周辺環境への配慮</b>		<b>2.7</b>	0.33	-	-	<b>2.7</b>
<b>3.1 騒音・振動・悪臭の防止</b>		<b>2.3</b>	0.40	-	-	
1 騒音		1.0	0.33	-	-	
2 振動		3.0	0.33	-	-	
3 悪臭		3.0	0.33	-	-	
<b>3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制</b>		<b>3.0</b>	0.40	-	-	
1 風害の抑制		3.0	0.70	-	-	
2 砂塵の抑制		3.0	-	-	-	
3 日照障害の抑制		3.0	0.30	-	-	
<b>3.3 光害の抑制</b>		<b>3.0</b>	0.20	-	-	
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策		3.0	0.70	-	-	
2 屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30	-	-	

# CASBEE埼玉県 重点項目シート

■使用評価ソフトバージョン

CASBEE埼玉県2016年版

## 1 建物概要

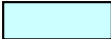
建物名称	(仮称)EDMテクノセンター第2工場3号棟増築工事	BEE	0.8	BEEランク	★★
------	---------------------------	-----	-----	--------	----

## 2 重点項目の評価

ライフサイクルCO2の削減のスコア		緑の保全・創出のスコア			
2.8	+	2.6	=	5.4	
重点項目の各スコアの合計点					
がんばろう 6.0未満 	良い 6.0以上  	非常によい 6.8以上   	すばらしい 8.0以上    		

## 3 重点項目についての環境配慮概要

<b>(1) ライフサイクルCO2の削減</b>		スコア平均	2.8
<CASBEE埼玉県の対応する配慮項目とスコア>			
LR3 敷地外環境対策	1. 地球温暖化への配慮	スコア	2.8
<配慮した内容を記述>ライフサイクルCO2排出率を89%に抑えた。			
<b>(2) 緑の保全・創出</b>		スコア平均	2.6
<CASBEE埼玉県の対応する配慮項目とスコア>			
Q3 室外環境(敷地内)	1. 生物環境の保全と創出	スコア	3.0
Q3 室外環境(敷地内)	3. 2 敷地内温熱環境の向上	スコア	2.0
LR3 敷地外環境	2. 2 温熱環境悪化の改善	スコア	3.0
<配慮した内容を記述>			

 : 入力欄